

## 研究グループ事業報告・事業計画

研究グループ名	2015 年度(2015.1～2015.8)事業報告内容	事業計画(2015.9～2016.8)
ナノオプティクス	2015年3月4日～5日, 日本光学会 ナノオプティクス研究グループ 第21回研究討論会(山梨大学 甲府キャンパス)を開催した. 講演 21件, 参加者 43名. 2015年7月7日～10日, The 10th Asia-Pacific Conference on Near-Field Optics; APNFO10(函館市国際水産・海洋総合研究センター)を開催した. 講演 138件, 参加者 162名. 2015年7月28日～29日, 第1回光物質・ゆらぎ科学と圏論に関する研究会(東京大学)に協賛した. 参加者 9名	2015年10月26日～27日, 第二回光物質・ゆらぎ科学と圏論に関する研究会(協賛開催). 2016年3月, 学生、若手を主体とした第22回研究討論会を開催予定.
コンテンポラリーオプティクス	会員登録 78名, メーリングリスト登録 41名.	11月中旬～12月中旬で, 若手光研究・技術者を対象とするイベント(サイエンスカフェ等)を開催予定.
視覚	メーリングリスト登録 35名.	2015年9月28日～29日, 電子情報通信学会ヒューマン情報処理研究会と共催により, 京都テルサ(京都府京都市)において研究会を開催予定.
生体医用光学	2015年4月23～25日, 日本光学会主催の5th Asian and Pacific-Rim Symposium on Biophotonics(パシフィコ横浜)を開催し, 実質的な運営を研究グループで担当した. 講演 77件, 参加者 109名. メーリングリスト登録 74名.	研究会開催や OPJ におけるシンポジウムなどの企画を予定.
情報フォトリクス	2015年3月9日, 第13回関西学生研究論文講演会(大阪市立大学杉本キャンパス)を開催した. 講演 25件, 参加者 46名. 2015年3月10日, 第9回関東学生研究論文講演会(静岡大学浜松キャンパス)を開催した. 講演 59件, 参加者 79名. 2015年7月15日, 第7回計算オプティクス研究会(埼玉大学東京ステーションカレッジサテライトキャンパス)を学生の企画・運営で開催した. 講演 6件, 参加 18名. メーリングリスト登録 230名.	2015年9月, マルチアパーチャ・ライトフィールドカメラ応用ワークショップ, 2015年9月, 第16回情報フォトリクス研究グループ研究会(秋合宿), 2015年10月, OPJ2015にて2つのシンポジウム(第9回新画像システム・情報フォトリクス研究討論会, 第2回情報フォトリクスシンポジウム:分野融合による CMOS イメージセンサの進化を目指して), 2016年3月, 第14回関西学生研究論文

		講演会および第 10 回関東学生研究論文講演会を開催予定.
光設計	2015 年 2 月 27 日, 第 56 回研究会「光学材料と成形加工技術」(キャンパスプラザ京都)を開催した. 講演 8 件, 参加者 83 名. 2015 年 7 月 23 日, 第 57 回研究会「光と薄膜」(ハイライフプラザいたばし)を開催した. 講演 8 件, 参加者 93 名. 「OPTICS DESIGN」No.56~57 を発行した. 第 18 回光設計賞の募集と審査を行った. 個人会員 302 名, 特別会員 11 団体, 賛助会員 8 社.	2016 年 2 月 28 日~3 月 2 日, ODF' 16(Weingarten, Germany), 2015 年 11 月 26 日, 第 58 回研究会「最近の光学技術と今後の展望」(板橋区グリーンホール), 第 59 回研究会(テーマ・場所未定)を開催予定. 第 18 回光設計賞の表彰を OPJ2015 内で実施. 会誌「OPTICS DESIGN」No.58~59 発行予定.
ホログラフィックディスプレイ	2015 年 3 月 6 日, 情報通信研究機構で研究会を行った. 講演 6 件, 参加者 50 名. 2015 年 6 月 15 日, 東京工業大学で研究会を行った. 講演 4 件, 参加者 22 名. また, HODIC 鈴木・岡田記念賞の授賞式および記念講演を行った. 会員数 91 名. 会誌を PDF で発行し, 会員にダウンロードで配布.	2016 年に, 4 回の研究会(9 月, 11 月, 3 月, 5 月)を計画. 5 月には, 鈴木・岡田記念賞の授賞式と記念講演を予定. 12 月に台湾交通大学で研究会を行う予定. また, 啓蒙活動として, ホログラム講習会, 大学ホログラフィー展覧会を行うとともに, 各種展示会などの後援を行い, ホログラフィーの素晴らしさを広めてゆく予定である.
光波シンセシス	幹事 16 名で運営.	2015 年 12 月に研究会を開催予定.
次世代フォトニックネットワークのための光技術	光学会の独立に伴い, 研究グループの委員の現在の活動内容, 企画などへの積極的な参加の可否などを再確認し, 体制の刷新を図った.	刷新を図った体制を基に年内に研究会を開催予定.
ボリュームホログラフィックメモリ技術	2015 年 7 月 16 日, 第 21 回ボリュームホログラフィックメモリ技術研究会(東京大学生産技術研究所)を開催した. 講演 4 件, 参加者 25 名.	OPJ2015 にてシンポジウム「S08:高速ホログラフィックメモリ用デバイスの進展」を開催.
レーザーディスプレイ技術	2015 年 2 月 25 日, 第 16 回レーザーディスプレイ技術研究会(東京大学生産技術研究所)で開催した. 講演 7 件, 参加者 177 名. 2015 年 7 月 15 日, 第 17 回レーザーディスプレイ技術研究会(東京大学生産技術研究所)を開催した. 講演 6 件, 参加者 146 名. 2015 年 4 月 22 日~24 日, 第 4 回レーザーディスプレイ国際会議(LDC2015)(パシフィコ横浜)を開催した.	2016 年 2 月 3 日, 第 18 回レーザーディスプレイ技術研究会(東京大学生産技術研究所)を開催予定. 2016 年 7 月 5 日~8 日, 第 5 回レーザーディスプレイ国際会議(LDC2016)(ドイツ・イェナ)を開催予定.

	講演 35 件, 参加者 96 名.	
デジタルオプティクス	2015 年 6 月 11 日-13 日, 第7回デジタルオプティクス研究会(宮古島マリンターミナル)で開催した. 講演 7 件, 参加者 7 名で. 会員 22 名である.	2015 年 10 月, OPJ2015 シンポジウムを開催. 2016 年 3 月と 2016 年 6 月に研究会を開催予定. 2015 年 9 月 17 日-19 日, DHIP2015 (Gangneung, Korea), 2016 年 5 月, BISC'16(横浜)に協賛.
偏光計測・制御技術	14 名の執行部で運営. 日本光学会への移行に伴い, 規約の制定, 執行部・運営委員の分担の再構築をはじめ, 今後の活動方針を検討した.	偏光計測制御研究会を年に 3 度開催し, 偏光計測制御に関する原理や要素技術, 応用を含めた最新のトピックスを調査し, 会員による問題提起と最新技術の調査報告を行う. そのうちの 1 回は, 該当分野の専門家による最新トピックスの講演を予定.